

令和5年度指定管理業務に関する事業報告書（地域包括支援センター）

センター名 西ノ京地域包括支援センター

1 施設の管理運営

【開所日及び開所時間等】 月～金曜日 午前9時から午後5時まで。 閉所日・時間外は同建物内の他事業所の日直者・夜勤者が対応。緊急時には担当者に連絡できる体制をとっています。
【事業実施地域】 中京区 朱雀第四，朱雀第五，朱雀第八の3学区
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

2 事業実施内容

【基本事業内容】 ・介護に関する相談対応 ・保健・医療・福祉を中心に生活全般にわたる相談等，高齢者の個別相談 ・高齢者虐待の早期発見と擁護者支援に係る対応及び人権を守る支援 ・高齢者を支援する地域関係者や介護保険事業者・医療関係者のネットワーク作り ・「要支援1・2の方」「事業対象者」に対して介護予防ケアプラン・サービス調整
【令和5年度事業の特徴】 ・「一人暮らし高齢者全戸訪問事業及び地域における見守り促進事業」を基本とした把握件数135人について訪問実施。 ・普及啓発事業に代わり、包括支援センター名の入ったカード型ルーペを配布。 介護予防普及のためのチラシを作成し約250名の高齢者に配布 ・地域ケア会議の開催 ア 個別ケア会議 イ 学区ケア会議 ウ 圏域会議（全学区・居宅）
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容
(参考) 自主事業内容

3 サービス提供状況

センター長1人（主任介護支援専門員と兼務） 主任介護支援専門員 2人 社会福祉士2人 保健師1人 介護支援専門員4人（常勤専従1名、非常勤専従2人） 事務員1人
(参考) 今後実施予定の指定管理者提案内容

4 市内中小企業への発注に対する考え方

・特殊設備や保守管理以外は市内の中小企業を活用するよう努めている。

5 施設の利用状況（施設の稼働率，利用者数，事業参加者数など）

(1) 介護予防支援給付対象者数（実績値）

3,985 人

(2) 相談延べ件数（実績値）

2,969 件

(3) 収支実績

ア 令和5年度収入状況（単位：円）

委託料	31,771,300
介護保険収入	16,123,200
その他	491,275
収入計	48,385,775

イ 令和5年度支出状況（単位：円）

人件費	30,640,548
事業費	2,014,347
委託費	3,711,638
小額修繕費	0
その他	12,925,469
支出計	49,292,002

6 施設の利用者満足度の把握

(1) 利用者満足度の把握状況

150名に送付 82名回答
概ね8割の方が、「はい」に回答。「わからない」の回答数が10名を超えた質問は、2番、5番、6番7番、8番、9番。「いいえ」については、1番の質問を除いてすべての質問に1～5名回答あり。
「わからない」回答した内容の改善策の検討が必要。

(2) 利用者満足度把握の結果

- ・具体的な利用料金については事業所により異なるため、必要に応じて事業所と連携をとりながら対応している。
- ・事例検討、研修参加等により、職員の知識や技術の習得、資質向上、自己研鑽を行った。
- ・自由記載の回答欄には、以前に質問内容に該当したことがない、どうい質問かわからないとのご意見もあったため、分かりやすい言葉や内容に変更し、アンケート内容の工夫を行った。概ね支援に対するねぎらいの言葉が多かった。

(3) 意見等への主な対応状況

苦情や相談窓口が分かるように、センターの入口に掲載。

7 その他特記事項

(1)

包括で実施したケア会議や普及啓発活動 サロンへの出席など

(2)

- ・併設事業所（居宅支援・デイサービス、ホームヘルプ）と連携・協働を目的に合同勉強会や事例検討会を実施。
- ・同法人内の他部署と合同での研修会や、委員会を開催し、地域に向けてのフェスタを開催や消防訓練を行った

8 評価（指定管理者自己評価）

法人が、聴覚言語障害者福祉協会のため聴覚障害者支援を通じて障害についての合理的配慮について対応している

- ・職員に対して手話研修の受講と手話検定試験受験を実施している
- ・法人内における包括の役割としてろうあ者相談員、施設福祉部と協働して介護保険制度説明と申請代行を行っている
- ・地域（圏域内～京都市内）の聴覚障害者団体からの依頼をうけ、他包括と協働して介護保険制度についての説明会や他包括への聴覚障害者への理解の普及啓発を実施している